

令和6年度 第1回 阿賀野市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時 令和6年6月27日（木）午後2時00分～午後3時00分

場 所 阿賀野市役所 403会議室

出席者 委員名簿のとおり

議 事

（1）阿賀野市地域公共交通協議会規約の一部改正について

○意見・質問等はなく、原案のとおり承認された。

（2）令和5年度事業報告について

○意見・質問等は無かった。

（3）令和6年度事業計画について

○次のとおり意見・質問があったが、原案のとおり承認された。

（委員からの意見）

AI オンデマンドバス交通を10月から実施するが、その途中経過について、委員に向けて説明する機会を設ける予定はあるか。

（阿賀野市 市長 加藤 博幸 会長）

AI オンデマンドバスが開始する10月から、年度末となる3月まで、半年分のデータを集計したタイミングで、委員の皆様へ途中報告を出来たらと考えている。

（事務局 成海）

AI オンデマンドバスの利用者像として、病院に行ったり買い物をするという身近な場所での利用が第一に思い浮かぶが、ニーズとしてはJRや路線バスへの乗り継ぎなどの遠出目的のお客さんも一定数いると思う。そうした方への乗り継ぎに関する手厚いPRが今後重要であると思うのでぜひ検討していただきたい。

（阿賀野市 市長 加藤 博幸 会長）

AI オンデマンドバスの運行日について、当面の間は月～金の平日のみで土日祝は含まないということで相違ないか。

(あがのタクシー株式会社 代表取締役 小菅 正博 委員)

ご指摘の通り。

(事務局 成海)

AI オンデマンドバスの乗降場所はバス停か。

(あがのタクシー株式会社 代表取締役 小菅 正博 委員)

ご指摘の通り。

(事務局 成海)

今回、AI オンデマンドバスの導入という今まで無かったことをするため、従来の予算の枠では収まりきらない部分があると思うが、費用面ではどのようにお考えか。

(日本労働組合総連合会新潟県連合会 下越地域協議会 阿賀野市部長 長谷川 委員)

国のデジタル田園都市交付金を活用し、残りは市の一般予算で支出する予定。試算では、今秋では5路線を廃止し、来秋には追加で4路線を廃止し、AI オンデマンドバスに置き換えることで、バス9台から5台による運行に移行でき、運行の効率化、ひいては予算のスリム化を図る見通し。

また、運行の効率化は、近年問題となっているドライバーの労働環境の改善にも寄与すると考えている。

(事務局 成海)

今回、あえてランニングコストがかかるAIを導入しようとしているのは、複数の乗合が発生することを見越しての判断か。

(国土交通省北陸信越運輸局交通政策部 交通企画課長 新倉委員)

ご指摘の通り。実際に現路線を運行する中で、ちょうどいい時間帯のバスが無いというお声や、複数の路線を経由する場所には行きづらいというお声を頂くことが多い。三条市や柏崎市などの先行事例も参考にしながら、これを解決する施策としてAI オンデマンドバスの活用に至った。

(事務局 成海)

今後、実際に運行していく中で乗合の利用実績が少なかった場合に AI オンデマンドバスを終了するなどといった選択肢は考慮しているか。

(国土交通省北陸信越運輸局交通政策部 交通企画課長 新倉委員)

半年経って検証した段階で、現在の運行形態と比較して、住民の利便性に結び付いた部分があるのであれば、乗合の利用実績数に関わらず続ける意義はあると考えている。一方で、運行の効率を表す指標として乗合の利用実績があることは理解しているので、注視していきたいと考えている。

(事務局 成海)

他の市の事例を見ると、運賃が100円というのは安いほうである。今後、費用対効果をモニタリングしながら運賃の適正価格を検討していけるような形にするとよいのではないか。

(国土交通省北陸信越運輸局交通政策部 交通企画課長 新倉委員)

(4) 阿賀野市地域公共計画の改定について

○意見・質問等はなく、原案のとおり承認された。

(5) 令和7年度地域公共交通確保維持計画について

○意見・質問等はなく、原案のとおり承認された。